安全データシート

Copyright,2025, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	38-6679-5	**版**	3.01
発行日	2025/01/30	**前発行日**	2024/06/24

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
3M™ コンパウンド QT-1LN 5975R

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
研磨材製品

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	ｵｰﾄ･ｱﾌﾀｰﾏｰｹｯﾄ 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分３
水生環境有害性 短期（急性）： 区分２
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分３

GHSラベル要素
注意喚起語
警告

シンボル
感嘆符

ピクトグラム

危険有害性情報

H336	眠気又はめまいのおそれ
H401	水生生物に毒性
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい状態を確保すること。
P312	気分が悪いときは医師に連絡すること。

保管

P403 + P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性

製品の粘度により、誤えん有害性の区分は適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	30 - 60
酸化アルミニウム	1344-28-1	15 - 40
水素化軽質石油留分	64742-47-8	20
ホワイトミネラルオイル	8042-47-5	2.5
ラウリルアルコール	112-53-8	2.4
モルホリン	110-91-8	< 1

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

中枢神経の抑制（頭痛、目眩感、眠気、共調不能、吐き気、言語障害、目眩及び意識喪失）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
炭化水素類	燃焼中
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中

消火作業者の保護
ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDS

のセクション2および11を参照すること。　区域から退避させること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　有資格者･専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとＳＤＳを参照し、安全な取り扱い方法に従う。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。　全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。　眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　環境への放出を避けること。　指定された個人保護具を使用する。

保管
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
モルホリン	110-91-8	ACGIH	TWA：20 ppm	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質、皮膚吸収の危険性
酸化アルミニウム	1344-28-1	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして)(8時間):2 mg/m3;TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.5 mg/m3	
不溶性アルミニウム、化合物	1344-28-1	ACGIH	TWA（吸入性分画）：1mg/m3	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの,	1344-28-1	ACGIH	TWA（吸入粒子）:10 mg/m3	

吸入粒子				
不溶性又は難溶性粒子状物質で他に特段の指定がないもの, 吸入性粒子	1344-28-1	ACGIH	TWA（吸入性粒子）:3 mg/m3	
ジェット燃料（非エアロゾル）、トータル炭化水素蒸気として	64742-47-8	ACGIH	TWA（トータル炭化水素蒸気、非エアロゾルとして）：200 mg/m3	A3: 確認された動物発がん性因子, 経皮吸収性
ケロシン（石油）	64742-47-8	ACGIH	TWA（トータル炭化水素蒸気、非エアロゾルとして）：200 mg/m3	A3: 確認された動物発がん性因子, 経皮吸収性
鉱物油、高精製油	8042-47-5	ACGIH	TWA（吸入性分画）：5 mg/m3	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
鉱物油、高精製油	8042-47-5	JSOH OELs	TWA（ミストとして）（８時間）：3 mg/m3	
オイルミスト、ミネラル	8042-47-5	JSOH OELs	TWA（ミストとして）（８時間）：3 mg/m3	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA：時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	スラリー
色	白色
臭い	特異的な臭い，やっと感知できるにおい
臭いの閾値	*データはない。*
ｐＨ	8 － 10
融点・凝固点	*データはない。*
沸点，初留点及び沸騰範囲	*適用しない*
引火点	*適用しない*
蒸発速度	*適用しない*
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	*適用しない*
燃焼点（上限）	*適用しない*
蒸気圧	*適用しない*
相対蒸気密度	*適用しない*
密度	*データはない。*
比重	1.1 － 1.18
溶解度	*適用しない*
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	*データはない。*
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	*データはない。*
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
火花及び／ないし炎

混触危険物質
未確定

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。　切断、研磨、機械加工によって発生する粉じんは呼吸器系を刺激する。症状は咳、くしゃみ、鼻水、しわがれ声、喘鳴、呼吸困難、鼻と喉の痛み、吐血等など。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合
軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。

眼に入った場合
切断、研磨又は機械加工によって発生する粉じんは眼を刺激する。症状は発赤、腫脹、痛み、催涙及び視力低下など。

飲み込んだ場合
胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露
中枢神経機能の抑制：　頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。

生殖毒性
出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
酸化アルミニウム	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 2.3 mg/l
酸化アルミニウム	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
水素化軽質石油留分	吸入－蒸気	専門家による判断	LC50 推定値 20 - 50 mg/l
水素化軽質石油留分	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	ラット	LC50 > 3 mg/l
水素化軽質石油留分	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
水素化軽質石油留分	皮膚	類似化合物	LD50 > 2,000 mg/kg
ラウリルアルコール	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
ラウリルアルコール	皮膚	類似化合物	LD50 > 5,000 mg/kg
ラウリルアルコール	吸入－粉塵/ミスト（4時間）	類似化合物	LC50 > 17.5 mg/l
ホワイトミネラルオイル	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ホワイトミネラルオイル	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
モルホリン	皮膚	ウサギ	LD50　500 mg/kg
モルホリン	吸入－蒸気	ラット	LC50 推定値 10 - 20 mg/l
モルホリン	経口摂取	ラット	LD50　1,680 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
水素化軽質石油留分	ウサギ	刺激物
ラウリルアルコール	ヒト	刺激性なし
ホワイトミネラルオイル	ウサギ	刺激性なし
モルホリン	ウサギ	腐食性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果

酸化アルミニウム	ウサギ	刺激性なし
水素化軽質石油留分	ウサギ	軽度の刺激
ラウリルアルコール	ウサギ	激しい刺激
ホワイトミネラルオイル	ウサギ	軽度の刺激
モルホリン	ウサギ	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
水素化軽質石油留分	モルモット	区分に該当しない。
ラウリルアルコール	モルモット	区分に該当しない。
ホワイトミネラルオイル	モルモット	区分に該当しない。
モルホリン	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
酸化アルミニウム	In vitro	変異原性なし
水素化軽質石油留分	In vitro	変異原性なし
ラウリルアルコール	In vitro	変異原性なし
ラウリルアルコール	In vivo	変異原性なし
ホワイトミネラルオイル	In vitro	変異原性なし
モルホリン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
モルホリン	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
酸化アルミニウム	吸入した場合	ラット	発がん性なし
水素化軽質石油留分	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
ホワイトミネラルオイル	皮膚	マウス	発がん性なし
ホワイトミネラルオイル	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性なし
モルホリン	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
モルホリン	吸入した場合	ラット	発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間

ラウリルアルコール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
ラウリルアルコール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	41 日
ラウリルアルコール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
ホワイトミネラルオイル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	13 週
ホワイトミネラルオイル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	13 週
ホワイトミネラルオイル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,350 mg/kg/日	妊娠期間中
モルホリン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。		データなし	
モルホリン	経口摂取	雄性生殖機能に有毒	類似化合物	NOAEL 60 mg/kg/日	2 世代

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
水素化軽質石油留分	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 入手できない	
水素化軽質石油留分	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 入手できない	
水素化軽質石油留分	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 適用しない。	
ラウリルアルコール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
モルホリン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
酸化アルミニウム	吸入した場合	塵肺症	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
酸化アルミニウム	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
ホワイトミネラルオイル	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,381 mg/kg/day	90 日
ホワイトミネラルオイル	経口摂取	肝臓 | 免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,336 mg/kg/day	90 日
モルホリン	皮膚	肝臓 | 腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	モルモット	LOAEL 900 mg/kg/day	13 日
モルホリン	皮膚	造血器系	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 900 mg/kg/day	13 日
モルホリン	吸入した場合	眼	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
モルホリン	吸入した場合	肺線維症	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	NOAEL 0.09 mg/l	13 週
モルホリン	吸入した場合	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 64 mg/l	5 日
モルホリン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 64 mg/l	5 日
モルホリン	吸入した場合	心臓 | 内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.9 mg/l	13 週

モルホリン	吸入した場合	消化管 ｜ 神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.53 mg/l	104 週
モルホリン	経口摂取	腎臓および膀胱	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 160 mg/kg/day	30 日
モルホリン	経口摂取	肝臓 ｜ 呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 160 mg/kg/day	30 日
モルホリン	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 800 mg/kg/day	30 日
モルホリン	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 323 mg/kg/day	4 週

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
水素化軽質石油留分	誤えん有害性
ホワイトミネラルオイル	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分２：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分３：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
酸化アルミニウム	1344-28-1	魚	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	>100 mg/l
酸化アルミニウム	1344-28-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	>100 mg/l
モルホリン	110-91-8	液状化	実験	30 分	EC20	>1,000 mg/l
モルホリン	110-91-8	魚	実験	96 時間	LC50	100 mg/l
モルホリン	110-91-8	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	28 mg/l
モルホリン	110-91-8	ニジマス	実験	96 時間	LC50	180 mg/l
モルホリン	110-91-8	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	45 mg/l

モルホリン	110-91-8	緑藻類	実験	96 時間	NOEC	10 mg/l
モルホリン	110-91-8	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	5 mg/l
水素化軽質石油留分	64742-47-8	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	1 mg/l
水素化軽質石油留分	64742-47-8	ニジマス	推定値	96 時間	LL50	2 mg/l
水素化軽質石油留分	64742-47-8	ミジンコ	推定値	48 時間	EL50	1.4 mg/l
水素化軽質石油留分	64742-47-8	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	1 mg/l
水素化軽質石油留分	64742-47-8	ミジンコ	推定値	21 日	NOEL	0.48 mg/l
ラウリルアルコール	112-53-8	繊毛原生動物	実験	48 時間	IC50	1.58 mg/l
ラウリルアルコール	112-53-8	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	1.01 mg/l
ラウリルアルコール	112-53-8	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.66 mg/l
ラウリルアルコール	112-53-8	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.765 mg/l
ラウリルアルコール	112-53-8	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.085 mg/l
ラウリルアルコール	112-53-8	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.014 mg/l
ホワイトミネラルオイル	8042-47-5	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EL50	>100 mg/l
ホワイトミネラルオイル	8042-47-5	ブルーギル	実験	96 時間	LL50	>100 mg/l
ホワイトミネラルオイル	8042-47-5	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	NOEL	100 mg/l
ホワイトミネラルオイル	8042-47-5	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEL	>100 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム	1344-28-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
モルホリン	110-91-8	実験 生分解性	28 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	93 DOC除去%	OECD 301E - 修正OECDスクリーニング試験
モルホリン	110-91-8	実験 生分解性	31 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	98 DOC除去%	OECD 302B Zahn-Wellens/EVPA試験
水素化軽質石油留分	64742-47-8	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ラウリルアル	112-53-8	実験 生分解	28 日	生物学的酸素	100 %BOD/COD	

コール		性		要求量		
ホワイトミネラルオイル	8042-47-5	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	0 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
酸化アルミニウム	1344-28-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
モルホリン	110-91-8	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	<2.8	OECD305-生体濃縮度試験
モルホリン	110-91-8	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-2.55	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
水素化軽質石油留分	64742-47-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ラウリルアルコール	112-53-8	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	117	Catalogic™
ラウリルアルコール	112-53-8	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	5.13	
ホワイトミネラルオイル	8042-47-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）　取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
労働安全衛生法：施行令別表第６の２ 有機溶剤
化管法：第１種指定化学物質
消防法：指定可燃物（可燃性液体類）

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
水素化軽質石油留分	ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。）	該当	該当	該当
ラウリルアルコール	1-ドデカノール(別名ノルマル-ドデシルアルコール)	適用しない	該当	該当
ホワイトミネラルオイル	鉱油	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
ラウリルアルコール	1-ドデカノール	273	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報
セクション６：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション９：色 情報修正.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。